



ゴールを目指し、疾走する一般男子部門の選手たち—さいたま市西区で

群馬の高校生が優勝

さいたま 高石杯自転車競走大会

自転車競技の普及に

尽くした高石真五郎氏

1967年死去を

顕彰する「第50回高石

杯関東地域自転車道路

競走大会」(日本自転

車競技連盟・関東自転

車競技連合主催、毎日

新聞社など後援)が14

日、さいたま市西区の

大宮けんぼグラウンド

「クリテリウム・コー

ス」で開かれ、高校生

男子の優勝者に贈られ

る「高石杯」には、群馬

県立前橋工業高校の篠

田幸希選手が輝いた。

高石氏は毎日新聞社

長を退任後、日本自転

車振興会長などを歴

任。海外特派員経験で

培った人脈も生かし、

国際オリンピック委員

会(IOC)委員とし

て、64年東京、72年札

幌五輪招致を実現し

た。【森有正】

各部門の1〜3位

(「高石杯」の篠田選

手を除く)は次の通り。

(敬称略)

中学生男子①小野寺慶

(栃木、ブラウ・ブリッ

ツェン)②福田圭晃(神

奈川、Team BFY

Racing)③海野

晋作(東京、バイクフ

ラザール)

オープン女子①細合夢

菜(埼玉、浦和工高)②

藤田まりあ(埼玉、浦和

工高)③石井菜摘(栃木、

作新学院高)

高校生男子②真杉匠

(栃木、作新学院高)③

渡辺慶太(埼玉、浦和工

高)

一般男子①小畑郁(東

京、なるしまフレンドレ

ーシングチーム)②小室

雅成(埼玉、WALKER

IDE)③山本雅道(神

奈川、神奈川県)